

通番	内容
(A) 基本機能	
A01	ファイル（資料）毎に公開する期間を分単位で設定できること。
A02	PDF閲覧時にページの特定位置を指し示すポインター機能があること。
A03	PDFのページを拡大/縮小表示する機能があること。
A04	ファイル（資料）閲覧用のアプリケーションではWindows10及び11、iOS及びiPadOSの最新のバージョンに対応していること。
A05	アプリでは利用OSごとにユーザーインターフェースに差がないこと。
A06	アプリでは、PDFのページの特定位置に付箋を追加しテキストを残すことができること。
A07	PDFのページに対して手書きのメモ書きができること。また、手書きメモは自動で保存されること。
A08	PDFのページに対して実施した手書きメモや付箋等の各種情報は、ファイル（資料）の差し替えが発生した際にも各種情報が維持されること。
A09	PDF閲覧時に手書きメモを見るモードと手書きメモのない原本ファイルを見るモードを選択できること。
A10	手書きメモを実施したファイル（資料）は、PDFなどの印刷が可能なデータ形式で出力できること。
A11	アプリでは、マーカーツールを利用することでPDFにマーカーを引くことができること。また、PDFのテキスト以外の場所（画像やグラフの上など）にもマーカーを引くことができること。
A12	アプリにおいて、カレンダー形式上に、日時設定した会議名称が表示できること。
A13	アプリで表示されるカレンダーは月表示と日表示の切り替えができること。
A14	アプリ上で、2つのファイル（資料）を同時に開くことができ、2つのファイル（資料）が同じ場合でも、開いている両方のファイル（資料）に手書きメモ及び自動保存ができること。なお、開いている2つのファイル（資料）が同じでかつ同ページの場合における手書きメモの可否については問わないものとする。
A15	アプリ上で2つのファイル（資料）を同時に開く場合、タブレット端末の持ち方が、縦のときは上下分割画面、横のときは左右分割画面でファイル（資料）を開くことができること。また、資料の表示比率を任意に変更できること。

通番	内容
A16	アプリではキャッシュデータの存在するファイル（資料）は、オフライン環境でも閲覧することができること。
A17	アプリで、オフライン環境でもメモ機能により書き込みし、オフライン使用中のアプリが入った端末内に自動で一時的に保存され、オンラインとなった場合は、クラウド上に自動で保存されること。
A18	アプリでは、タッチパネル上のピンチイン・ピンチアウト操作で、ファイル（資料）の拡大縮小表示ができること。
A19	A18について、画面表示の標準は、タブレット端末の画面サイズに応じて全体表示されたものを100%とした際、拡大は600%（6倍）以上表示できること。
A20	オフライン環境での閲覧可能期間は任意の期間を設定できること。
A21	アプリではログインユーザーに対して閲覧権限のある資料のみが表示されること。
A22	アプリでは閲覧権限のあるファイル（資料）の一括ダウンロードを待たずにファイル（資料）の閲覧ができること。
A23	利用を許可された端末からのみ閲覧することができること。また、利用者毎にファイル（資料）の閲覧権限を設定することができること。
A24	利用を許可されたIPアドレスのみ、フォルダやファイル（資料）の閲覧等ができること。
(B) 会議機能	
B01	会議参加者と日時を指定した会議を作成することができること。
B02	会議には権限を与えられた参加者のみが、指定されたファイル（資料）を閲覧することができること。
B03	会議の参加者は、任意に画面の同期または非同期を選択できること。
B04	会議の発表者のページ操作は、参加者が操作をしなくても、画面が同期されること。
B05	画面同期において、会議の発表者と参加者どちらの状態でも現在画面同期に参加しているユーザーの一覧を、アプリ上でリアルタイムで確認できること。
B06	発表者が操作する場合、ファイル（資料）表示やページ送り、ポインターなどの動作は、会議に参加している参加者のタブレット端末に、発表者画面と同じ画面が表示され、会議進行が出来ること。

通番	内容
B07	会議の発表者の手書きメモは参加者のタブレット端末にも表示することができること。
B08	会議の運営者（議会事務局）は、事前に議案を登録することができること。また、参加者（議員）は登録された議案に対して、アプリ上で賛成・反対・棄権の意思表示ができること。
B09	会議の長または運営者（議会事務局）が、事前に登録した議案ごとに、採決を進行できること。
B10	会議の運営者（議会事務局）は、採決の結果をCSVデータで一括出力ができること。
(C) 管理	
C01	利用には、アカウントIDとパスワードによるユーザー認証が必要であること。
C02	ファイル（資料）の登録・削除などの管理者操作はPCブラウザから操作できること。
C03	ダウンロード済みのファイル（資料）は、あらかじめ定めた公開期間終了後に、タブレット端末から自動削除ができること。
C04	ユーザーの持つ権限により、アクセスできるフォルダ及びファイル（資料）を制限することができること。
C05	管理者により、ユーザーのパスワード変更（初期化または再発行も含む。）ができること。
C06	管理者は、サーバ内に任意にフォルダを作成し、ファイル（資料）を格納することができること。
C07	管理者サイトでは、フォルダやファイル（資料）の登録画面とは別に、アプリのカレンダーに表示される会議を設定するための専用画面を有していること。
C08	会議のカレンダーを作成する際、既に登録済の資料の中から各フォルダを横断し、必要な資料だけを選んで会議を作成できること。
C09	作成した会議情報は、意図的な削除または有効期間設定などの制限をしない限り、アプリ上のカレンダーに表示され、参加者はいつでもファイル（資料）を閲覧等できること。
C10	管理者サイトでは、アプリでダウンロードしたファイル（資料）のページ数を紙の枚数に換算し、環境への貢献度や業務改善効果をシミュレーションすることができる機能を有していること。
(D) セキュリティ	
D01	アプリで、端末に暗号化された状態でファイル（資料）をダウンロードすることができ、アプリを通じてのみ復号化することが可能であること。

通番	内容
D02	サーバと端末間の通信経路は、暗号化通信をしていること。
D03	端末認証・ユーザー認証をした端末のみがファイル（資料）を閲覧することができること。
D04	管理者は利用者の端末をアプリ内の固有番号を用いて特定することができること。
D05	アプリでは、オフライン状態のまま7日間経過後に、オフラインでアプリにログインすると端末内に保存した全てのキャッシュデータを自動削除する機能があること。
(E) データセンター	
E01	データセンターは、24時間365日の運用、利用を実現すること（サーバーメンテナンス期間は除く）。
E02	データセンターは、免震又は制震に対応した構造であること。
E03	データセンターの消火設備は、窒素ガス消火設備を有していること。
E04	建物の出入り口に防犯対策が講じられていること。
E05	データセンターには事前に登録された者のみが入館できるよう管理されていること。
E06	無停電対策として、異系統による2系統の電源を受電し、一方の送電が停止した場合でも受電が継続され、両変電所からの送電が完全に停止した際のための自家発電設備及び電圧・周波数安定化装置による対策がとられていること。
E07	サーバへの不正アクセスや情報漏えい、ウィルス感染などに対するセキュリティ対策が万全であること。